

第3期 橋本市学力向上推進プラン

橋本市教育委員会

1. 計画策定の趣旨

橋本市では、橋本市第2期教育大綱において「人が学びあい、共に育むまちづくり ―自治と協働のまち橋本市に向けて―」を理念に掲げ、子供も大人も共に育ち、育て合うことを目指し、家庭・学校・地域が連携したまちづくりに取り組んでいます。その中で、基本方針「2. 多様な学びと健やかな体を育みます」の中の重点目標として「(1) 基礎学力を基盤とし、主体的・対話的で深い学びを推進する。」掲げ、学校教育においては新学習指導要領の趣旨に基づき授業改善に取り組んでいるところです。

全国学力・学習状況調査の結果から見いだされた課題解決に向け、橋本市教育委員会では平成27年度に「(第1期)橋本市学力向上推進プラン」を、平成30年度には「第2期橋本市学力向上推進プラン」をそれぞれ策定しました。各小中学校においてもそれに基づく独自の学力向上プランを作成し、取組を進めることで、これまでに一定の成果が現れました。

この度、さらなる学力向上と課題解決に向け「橋本市学力向上推進プラン」を見直し、今後3年間に重点的に取り組む内容を取りまとめました。今後、県教育委員会とも連携を図りながら、教育行政と小・中学校が一体となり、家庭の協力も得ながら、確かな学力の向上、たくましく生きる力を育む教育を推進していきます。

2. 計画の基本方針

「橋本市教育大綱」「和歌山県教育振興基本計画」等における重点施策を柱として、これから取り組むべき具体的な学力向上対策を明らかにします。平均正答率を向上させることはもとより、生活習慣、自己肯定感や学習に対する意識等、これまでの全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった学力を下支えする部分を向上させるための取組を行います。

3. 計画の期間

令和3年度から令和5年度までの3年間とします。

4. 目標

令和6年度全国学力・学習状況調査の調査結果を成果指標とし、以下を目標とします。

【教科に関する調査】

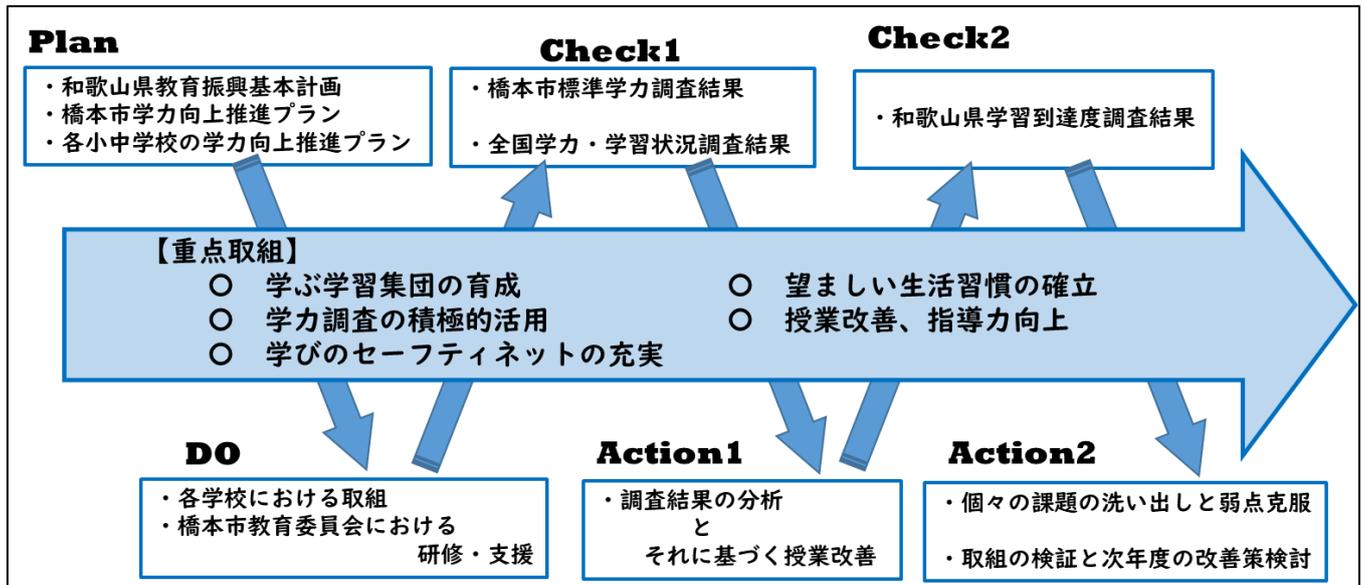
- 小中学校すべての調査で、市の平均正答率が全国平均を上回る。

【児童生徒質問紙調査】

- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」の質問で、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答する児童生徒の割合が、全国値を上回る。
- 「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」の質問で、1時間以上である児童生徒の割合が、全国値を上回る。
- 「自分には、よいところがあると思う。」の質問で、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答する児童生徒の割合が、全国値を上回る。
- 「児童生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」の質問で、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答する児童生徒の割合が、全国値を上回る。
- 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問している」の質問で、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答する児童生徒の割合が、全国値を上回る。
- 「算数(数学)の授業で公式やきまりなどを習うとき、その根拠を理解するようにしている」の質問で、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答する児童生徒の割合が、全国値を上回る。

5. 計画の全体像

全国学力・学習状況調査及び橋本市標準学力調査と和歌山県学習到達度調査を核とし、年間2回のPDCAサイクルをとって、学力向上に取り組みます。



6. 学力向上のための視点及び橋本市教育委員会における重点的な取組

■ 学ぶ学習集団の育成

- ・ 学ぶ学習集団の育成（お互いを認め合う人権意識を持った集団）、授業規律の確立、態度教育を推進します。
- ・ いじめの防止や学級規律の乱れの防止に向けて学校と連携を密にし、各学校の状況把握に努めるとともに支援を行います。

■ 望ましい生活習慣の確立

- ・ 保護者や関係機関等と連携し、基本的な生活習慣及び家庭学習習慣の定着に向けた指導を充実させます。
- ・ 各校の家庭学習に向けての取組状況、宿題の出し方、自主学習ノート等の活用のさせ方について、効果的な取組について情報共有を行います。

■ 授業改善、指導力向上

- ・ 学校への訪問指導、集合型研修を充実させ、現在求められている学力観の共有や教員の指導力向上に努めます。
- ・ 学校図書館を活用した学習活動を充実させます。

■ 学力調査（市・県・国）の積極的活用

- ・ 調査結果から見える市内児童生徒の学力面及び生活面での課題を把握し、各学校への情報提供及び改善に向けた指導を行います。
- ・ 市内外の好事例についての情報共有を図ります。

■ 学びのセーフティネットの充実

- ・ 学習補充の日を設定した学習サポートを実施します。
- ・ 一人一人に配慮したきめ細かな指導・介助を行うため、適切な人員の配置を行います。